

B R I O

オープン収納システム | ブリオ

組立・取扱説明書

このたびはブリオ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この説明書は正しくお使いいただくためのガイドブックです。

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みいただき、内容をご理解された上で
ご使用くださいますようお願いいたします。

また、常にお手元においてご使用されることをお勧めいたします。



目次	
安全にお使いいただくために(必ずお守りください)	2
設置の際のお願い	2
適切な換気の励行に関するお願い	2
安全に組み立てていただくために(必ずお守りください)	3
末永くお使いいただくためのお願い	3
主な材質と表面仕上げ	4
部品の説明	4

基本部材	5~8
枠組み部分組立にあたっての注意事項	9
組立方法	10~30
オプション品の組立	31~35
保証の明細	36
JOIFA標準使用期間	36
製品の廃棄について	36

安全にお使いいただくために（必ずお守りください）

△ 注意 この表示は、誤った取扱いをすると、傷害を負う可能性や、物的損害の発生が想定される内容を表しています。

△ 注意

乱暴な取扱いや用途以外のご使用は避けてください。破損や転倒によりケガをする恐れがあります。

- 踏み台として使用しないでください。
- 本体にもたれたり、上に乗らないでください。転倒してケガをする恐れがあります。
- 危険物（壊れ物、薬品、生き物などを収納しないでください。人体や衣服などを傷つける恐れがあります。）
- 収納物の飛び出しがあると、衣服や収納物などを損傷させる恐れがありますのでご注意ください。

スキマや可動部には手や指を入れしないでください。ケガをする恐れがあります。

破損や転倒の恐れがありますので、以下のことがらに注意してください。

- 異常を発見したまま、使用しないでください。破損や転倒によりケガをする恐れがあります。
- ボルトやネジのゆるみによるガタツキが生じた時は締め直してください。
- 部品が外れたままで使用しないでください。

分解・修理はしないでください。

- お客様での分解・修理は大変危険ですので、必ず弊社販売窓口までご連絡ください。
- ボルトやネジが緩んだまま使わないでください。本体が壊れてケガをする恐れがあります。

設置の際のお願い

下記事項をお守りにならなかった場合には、不具合が生じる場合があります。また、その場合の責任は弊社としては負いかねます。

屋内でのご使用をお願いいたします。

- 屋外や水のかかるところ等では、反り、サビの発生など故障を引き起こす原因となりますので、使用しないでください。

ストーブ・エアコンなどの熱や風が直接当たる場所は、変形や変色の原因になりますので避けてください。

高温や湿気、乾燥の著しい場所は、変形や変色、カビの原因になりますので避けてください。

適切な換気の励行に関するお願い

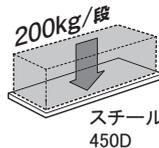
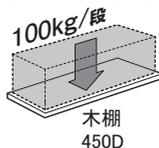
- 購入当初は、化学物質の発散が多いことがあります。しばらくの間は、換気や通風を十分行なうようにしてください。
- 室内が著しく高温多湿となる場合（温度28℃、相対湿度50%超が目安）には、窓を閉め切らないようにしてください。

改造はしないでください。故障や事故の原因となります。

- お客様による改造は、故障の原因となります。また、その場合の責任は弊社として負いかねます。
- 改造が必要な場合は、事前に弊社販売窓口までご連絡ください。

最大積載質量を超えるものを載せないでください。転倒や破損の恐れがあります。

最大積載質量について
製品にのせるものの重さは必ず最大積載質量以内にしてください。下記最大積載質量を超える積載は製品の破損、ケガ等の事故につながります。
※最大積載質量の数値はJIS S1039書架・物品棚強度基準によるものです。
※最大積載質量の数値はいずれも等分布静荷重（均等に静かに荷物をのせる）を示します。
※等分布質量とは、棚板に均等に質量を載せることを意味します。部分的に偏った質量を載せるとバランスが崩れ、落下や転倒の恐れがあります。



※ただし、本体1連あたり1000kgまで。

本製品は、ボルトレスで組立が可能な製品です。

- 組み立てる際は構造体が安定する様、各部品をハンマーにて叩き込み、強く嵌合させてください。

直射日光の当たる場所は、変形や日焼けによる変色の原因になりますので避けてください。

- 窓際などへ設置する場合は、常にカーテンやブラインドなどで直射日光を遮るようにしてください。

水平を保つように設置してください。

- 設置するときは、必ず本体を水平を保つようにしてください。水平が保たれない状態で設置しますと、本体の歪み、可動部の不良の原因となります。

安全に組み立てていただくために(必ずお守りください)

△ 注意 この表示は、誤った取扱いをすると、傷害を負う可能性や、物的損害の発生が想定される内容を表しています。

△ 注意

- 組み立ての際は、十分な作業スペースを確保して行ってください。思わぬケガにつながる恐れがあります。
- 組み立ては、2人以上で行ってください。1人で行うとケガをする恐れがあります。
- 組み立ての際は、指定の工具を使用してください。不十分な締め付けにより、破損や転倒によるケガをする恐れがあります。
- 電動工具を使用する際は、手袋をはずして行ってください。工具に巻き込まれてケガをする恐れがあります。
- 部品の端部や裏側、スキマには気を付けてください。ケガをする恐れがあります。
- 床に布やダンボールを敷きその上で作業してください。床を傷付ける恐れがあります。

末永くお使いいただくためのお願い

下記事項をお守りにならなかった場合には、不具合が生じる場合があります。また、その場合の責任は弊社としては負いかねます。

ご使用上の注意とメンテナンスについて

- 使用中にボルトやネジの緩みによるガタツキが生じた時は、必ず増締めをしてください。
- 湯気が当たる場所での使用は避けてください。サビの原因となります。
- 水に濡れた時は、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- お茶・コーヒー・洗剤・薬品などをこぼした場合は、すぐに拭き取ってください。
- この組立・取扱説明書をいつでも取り出せるよう大切に保管してください。
- こまめに、メンテナンスしながらお使いいただくのが製品を長持ちさせる秘訣です。保証期間終了後は早めの点検と修理(有償)を弊社にご用命ください。

お手入れについて

日常のお手入れ

- 日常のお手入れは硬く絞った柔らかい布などで、こまめに拭いてください。

お手入れの際のご注意

- 市販のクリーナーなどをご使用の際は目立たない部分で変色などが無いことを確認してからご利用ください。

著しく汚れた場合のお手入れ

- 柔らかい布をうすめた中性洗剤溶液(1~3%)に濡らし、強く絞ってよく汚れを拭き取ってください。その後、洗剤が残らないように乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。

主な材質と表面仕上げ

部位	主な材質	表面仕上げ
支柱	スチール	焼付塗装
棚板	スチール	焼付塗装
木棚	MDF、PB	強化紙貼
木棚	シナ合板	クリア塗装
ワークトップ	MDF、PB	メラミン化粧板
ブラケット	スチール	焼付塗装
上下ブラケット	スチール	焼付塗装
連結材	スチール	焼付塗装
ベースプレート	再生PA6	—
ファスナー	PA6	—

部位	主な材質	表面仕上げ
サイドパネル	MDF、PB	強化紙貼
ディスプレイボックス棚	MDF、PB	強化紙貼
ワークトップ棚板	MDF、PB	メラミン化粧板
壁固定金具	スチール	焼付塗装
床固定金具	スチール	ユニクロめっき

※製品の仕様については、改良のため予告なく変更を行う場合もありますのでご了承ください。

部品の説明

ご購入いただいた製品によって、使用する部品および組立方法が異なります。

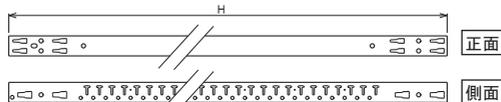
下表を参照いただき、ご購入製品の基本部材および組立方法のそれぞれのページをご参照の上、組み立ててください。

	製品名称	製品高さ寸法	基本部材	組立方法
1	ハイタイプ	2150H、2000H、1850H	P.5	P.10～13
2	ハイタイプ下部オープン	2150H、2000H、1850H	P.5	P.14～17
3	ロータイプ(木天板付)	1550H、1250H、1100H、950H	P.6	P.18～22
4	ロータイプ(支柱キャップ付)	1100H	P.7	P.23～26
5	ワークテーブル	900H	P.8	P.27～30
6	オプション 支柱キャップ		—	P.31
7	オプション サイドパネル		—	P.31
8	オプション ディスプレイボックス		—	P.32
9	オプション ワークトップ棚板(木)		—	P.33
10	オプション 壁固定金具/床固定金具		—	P.34～35

基本部材

1. ハイタイプ

◆支柱



高さ(H)	部品番号
1850H	8J10FP
2000H	8J10GP
2150H	8J10HP

支柱は単体型(本体タイプ)は4本、連結型(連結タイプ)は2本となります。

◆連結材

×4本



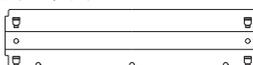
幅(W)	部品番号
900W	8J111Y
1200W	8J112Y
1800W	8J113Y

◆ブラケット



ブラケット	部品番号
	8J133Y

◆上下ブラケット



部品番号
8J126Y

◆棚板(スチール)



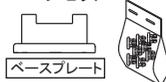
幅(W)	部品番号
900W	8JR33P
1200W	8JR43P
1800W	8JR63P

◆木棚



幅(W)	部品番号
900W	8JW33P
1200W	8JW43P

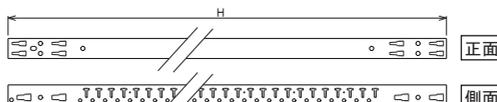
◆パーツセット



	部品番号
単体型	8J141Y ・ベースプレート ×4 ・ファスナー ×8
連結型	8J142Y ・ベースプレート ×2 ・ファスナー ×8

2. ハイタイプ下部オープン

◆支柱

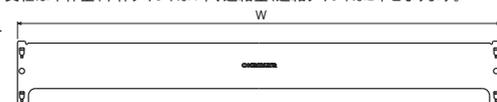


高さ(H)	部品番号
1850H	8J10FP
2000H	8J10GP
2150H	8J10HP

支柱は単体型(本体タイプ)は4本、連結型(連結タイプ)は2本となります。

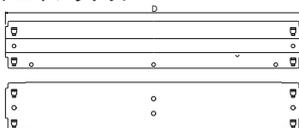
◆連結材

×3本



幅(W)	部品番号
900W	8J114Y
1200W	8J115Y
1800W	8J116Y

◆上下ブラケット



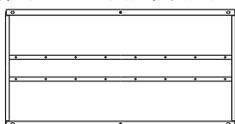
上ブラケット ×2本

下ブラケット ×2本

上ブラケットと下ブラケットは形状が異なります。

奥行き(D)	部品番号
450D	8J127Y

◆棚板(スチール)(天板面用)



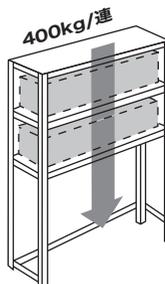
幅(W)	部品番号
900W	8JR33P
1200W	8JR43P
1800W	8JR63P

◆パーツセット



	部品番号
単体型	8J141Y ・ベースプレート ×4 ・ファスナー ×8
連結型	8J142Y ・ベースプレート ×2 ・ファスナー ×8

● 棚1連あたり

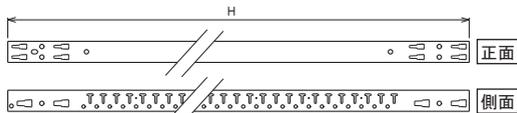


⚠ 注意

下部オープン棚の場合、手前側下部には連結材を取付けない為、1連あたりの耐荷重は400Kgまでとなります。積載荷重には十分注意し使用願います。

3. ロータイプ(木天板付)

◆支柱

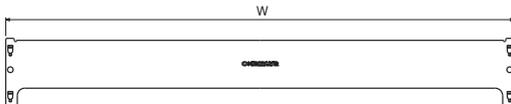


高さ(H)	部品番号
950H	8J10BP
1100H	8J10CP
1250H	8J10DP
1550H	8J10EP

支柱は単体型(本体タイプ)は4本、連結型(連結タイプ)は2本となります。

◆連結材

×4本



幅(W)	部品番号
900W	8J111Y
1200W	8J112Y

◆ブラケット



部品番号
8J133Y

ブラケット

◆上下ブラケット



部品番号
8J126Y

8J126Y

◆棚板(スチール)



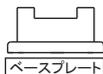
幅(W)	部品番号
900W	8JR33P
1200W	8JR43P

◆木棚



幅(W)	部品番号
900W	8JW33P
1200W	8JW43P

◆パーツセット



ベースプレート



ファスナー

	部品番号
単体型	8J141Y ・ベースプレート ×4 ・ファスナー ×8
連結型	8J142Y ・ベースプレート ×2 ・ファスナー ×8

◆木天板 ※



幅(W)	部品番号
900Wエンド	8JUS1P
900W中間	8JUC1P
900W1連	8JUT1P
1200Wエンド	8JUS2P
1200W中間	8JUC2P
1200W1連	8JUT2P

◆天板補強材



900W

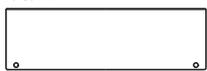


1200W

幅(W)	部品番号
900W	8J153P
1200W	8J154P

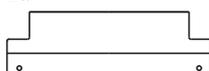
◆天板固定材 ※

単体用



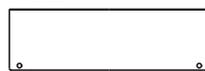
ビスセット

連結用



ビスセット

エンド用



ビスセット

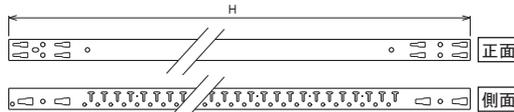
	部品番号
単体用	8J171Y
連結用	8J172Y
エンド用	8J173Y

※ お買い求めのセットによっては含まれません。

4. ロータイプ(支柱キャップ付)

<高さ 1100H/幅 900W 限定>

◆支柱

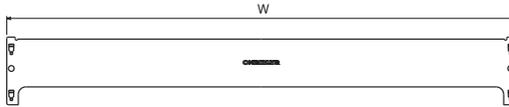


高さ(H)	部品番号
1100H	8J10CP

支柱は単体型(本体タイプ)は4本、連結型(連結タイプ)は2本となります。

◆連結材

×4本



幅(W)	部品番号
900W	8J111Y

◆ブラケット



ブラケット

部品番号
8J133Y

◆上下ブラケット



部品番号
8J126Y

◆棚板(スチール)



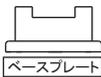
幅(W)	部品番号
900W	8JR33P

◆木棚



幅(W)	部品番号
900W	8JW33P

◆パーツセット



ベースプレート



ファスナー

	部品番号
単体型	8J141Y ・ベースプレート ×4 ・ファスナー ×8
連結型	8J142Y ・ベースプレート ×2 ・ファスナー ×8

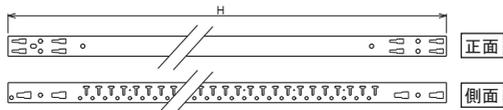
◆支柱キャップ



部品番号	
8J143P	・単体型 ×4
	・連結型 ×2

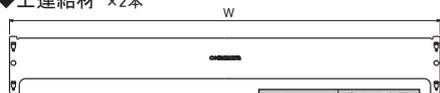
5. ワークテーブル

◆支柱
×4本



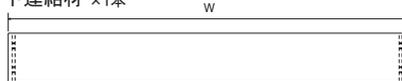
高さ(H)	部品番号
850H	8J10AP

◆上連結材 ×2本



幅(W)	部品番号
1500W	8J117Y
1800W	8J118Y

◆下連結材 ×1本



幅(W)	部品番号
1500W	8J161P
1800W	8J162P



◆天板 ×1枚



幅(W)	奥行き(D)	部品番号
1500W	700D	8JT54P
1800W	900D	8JT65P

◆天板補強材 ×2本



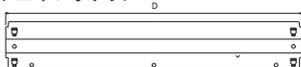
幅(W)	部品番号
1500W	8J157P
1800W	8J158P

◆ブラケット ×2個



奥行き(D)	部品番号
700D	8J134Y
900D	8J135Y

◆上下ブラケット



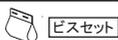
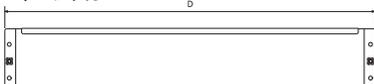
上ブラケット
×2個



下ブラケット
×2個

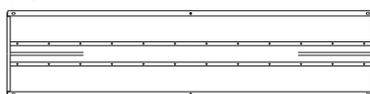
奥行き(D)	部品番号
700D	8J128Y
900D	8J129Y

◆エンドカバー ×2個



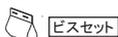
奥行き(D)	部品番号
700D	8J148Y
900D	8J149Y

◆棚板(スチール) ×2枚



幅(W)	奥行き(D)	部品番号
1500W	700D	8JR51Y
1800W	900D	8JR62Y

◆天板固定材 ×2個



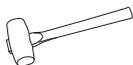
奥行き(D)	部品番号
700D	8J174Y
900D	8J175Y

◆パーツセット



部品番号
8J141Y
・ベースプレート ×4
・ファスナー ×8

組み立てに必要な工具



プラスチックハンマー(1kg以上推奨)、
または木槌



2番 ⊕ ドライバー



六角レンチ 4mm



スパナ 10mm、13mm
※壁固定金具、床固定金具の取り付けに
使用します。

枠組み部分組立にあたっての注意事項

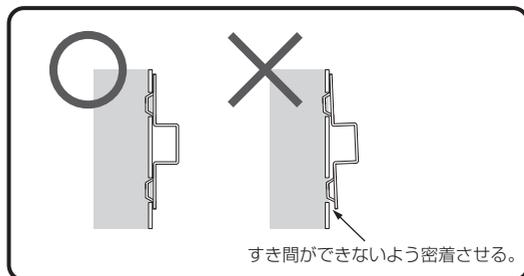
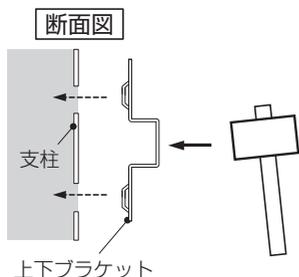
本製品の枠組み部分はボルトレスで組み立てることができます。

組立にあたっては、プラスチックハンマー等の叩き込みによって、しっかり嵌め合わせてください。

◆上下ブラケット、下ブラケット

支柱側面に上下ブラケット、または下ブラケットを取り付けるとき、支柱との間にすき間ができないよう軽く叩いて密着させてください。

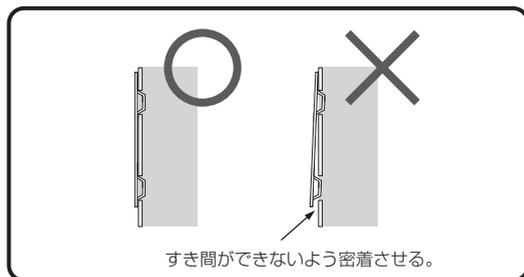
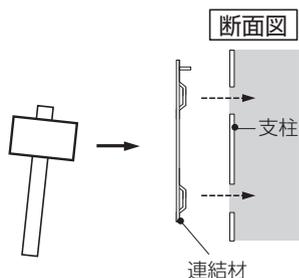
支柱と上下ブラケット、又は下ブラケットとの間にすき間がある状態では、正しく組立ができません。



◆連結材

支柱前面に連結材を取り付けるとき、支柱との間にすき間ができないよう軽く叩いて密着させてください。

支柱と連結材との間にすき間がある状態では、正しく組立ができません。



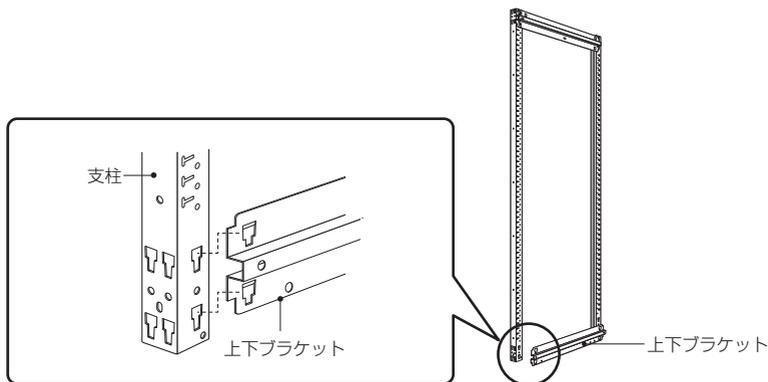
動画

叩き込み方法の参考として、「組立補足説明」の動画をご覧ください。

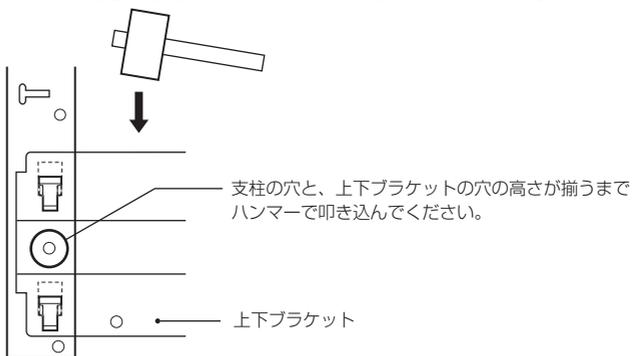


1 上下ブラケットを取り付けます。

- ① 支柱側面の上下にある羽子板穴に上下ブラケットの爪部を差し込み、すき間ができないように密着させます。
P.9「枠組み部分組立にあたっての注意事項」をご参照ください。



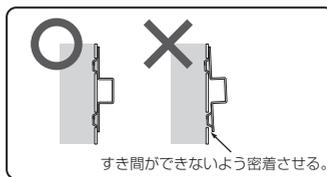
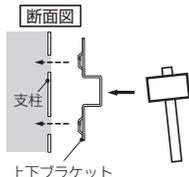
- ② 上下ブラケットを下方に叩き込み、支柱と上下ブラケットをしっかり嵌め合わせます。支柱と上下ブラケットの穴が同じ高さになるまでハンマーで叩き込んでください。



注意 本製品の枠組み部分はボルトレスで組み立てることができます。組立にあたっては、プラスチックハンマー等の叩き込みによって、しっかり嵌め合わせてください。

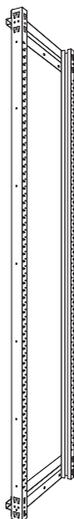
◆ 上下ブラケット、下ブラケット

支柱側面に上下ブラケット、または下ブラケットを取り付けるとき、支柱との間にすき間ができないよう軽く叩いて密着させてください。支柱と上下ブラケット、又は下ブラケットとの間にすき間がある状態では、正しく組立できません。



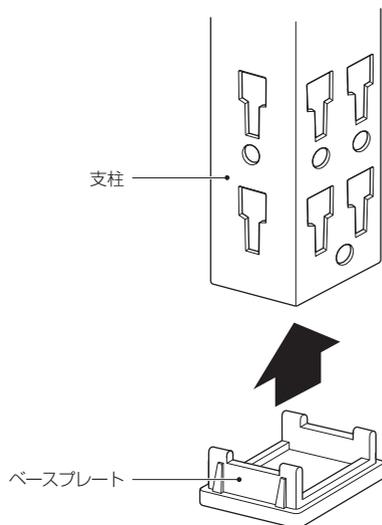
叩き込み方法の参考として、「組立補足説明」の動画をご覧ください。
P.9「枠組み部分組立にあたっての注意事項」をご参照ください。

③ 2本の支柱を連結してパネル状にします。



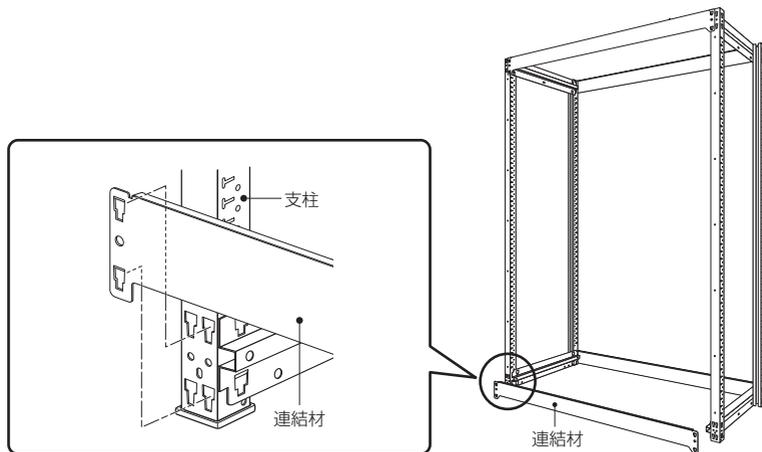
2 ベースプレートを取り付けます。

支柱下端にベースプレートを取り付けます。

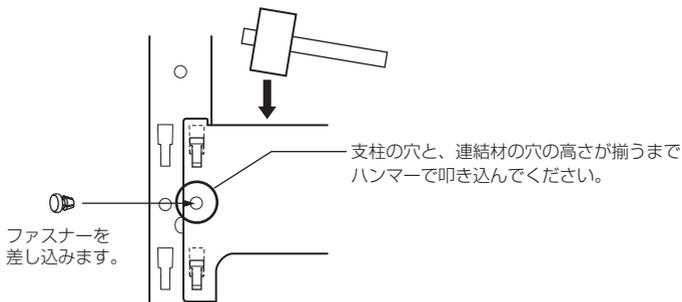


3 連結材を取り付けます。

- ① 支柱前面の上下にある羽子板穴に連結材の爪部を差し込み、すき間ができないように密着させます。
P.9「枠組み部分組立にあたっての注意事項」をご参照ください。



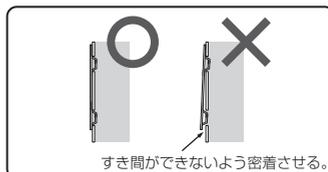
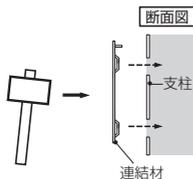
- ② 連結材を下方方向に叩き込み、支柱と連結材をしっかりと嵌め合わせます。
支柱と連結材の穴が同じ高さになるまでハンマーで叩き込み、ファスナーを差し込みます。



△ 注意 本製品の枠組み部分はボルトレスで組み立てることができます。
組立にあたっては、プラスチックハンマー等の叩き込みによって、しっかりと嵌め合わせてください。

◆ 連結材

支柱前面に連結材を取り付けるとき、支柱との間にすき間ができないよう軽く叩いて密着させてください。
支柱と連結材との間にすき間がある状態では、正しく組立ができません。

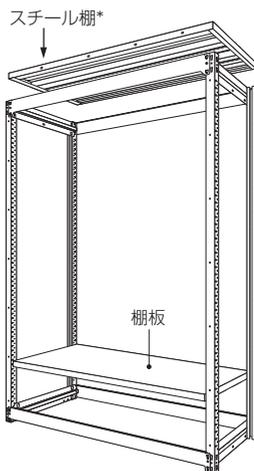


叩き込み方法の参考として、「組立補足説明」の動画をご覧ください。
P.9「枠組み部分組立にあたっての注意事項」をご参照ください。

4 上下ブラケットの上に棚板を載せます。

最上段と最下段の上下ブラケットに、棚板を載せます。

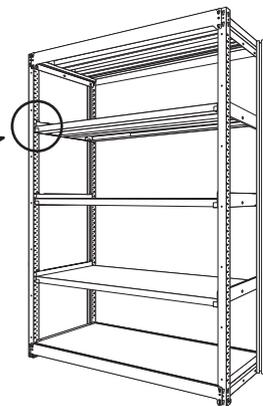
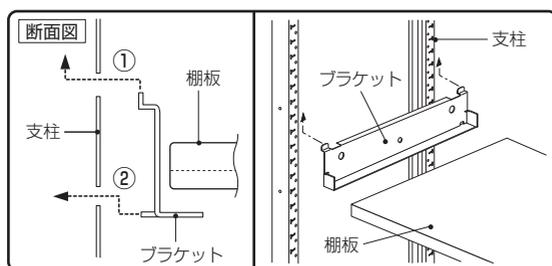
* ハイタイプの場合、木棚タイプ、スチール棚タイプの違いに関わりなく、天板面はスチール棚になります。
底面棚板は、木棚タイプの場合は木棚、スチール棚タイプの場合はスチール棚となります。



5 ブラケットを必要な位置に取り付け、棚板を載せます。

中段の棚板取り付けは、左右の支柱側面のスリットにブラケットを取り付け、その上に載せます。

■ 棚板の調整: 25mmピッチ



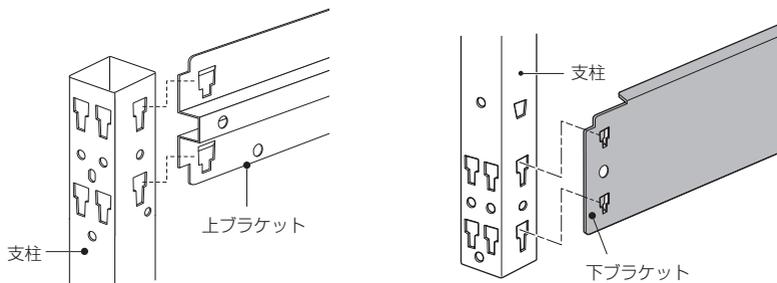
	100kg/段タイプ (450D: 木棚)	200kg/段タイプ (450D: スチール棚)
ブラケット		
棚板		

1 上ブラケット／下ブラケットを取り付けます。

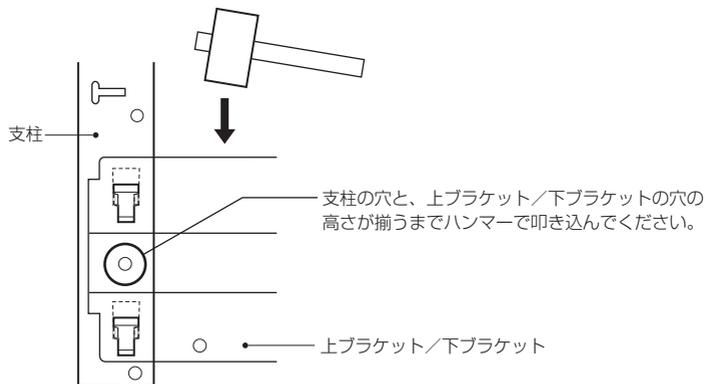
- ① 支柱側面の上下にある羽子板穴に上ブラケット／下ブラケットの爪部を差し込み、すき間ができないように密着させます。

P.9「枠組み部分組立にあたっての注意事項」をご参照ください。

下部オープンタイプは、上ブラケットと下ブラケットの形状が異なりますので注意してください。



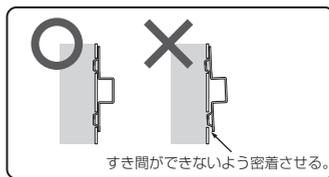
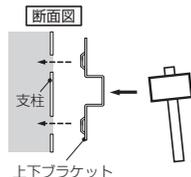
- ② 上ブラケット／下ブラケットを下方方向に叩き込み、支柱と上ブラケット／下ブラケットをしっかりと嵌め合わせます。
支柱の穴と上ブラケット／下ブラケットの穴が同じ高さになるまでハンマーで叩き込んでください。



注意 本製品の枠組み部分はボルトレスで組み立てることができます。組立にあたっては、プラスチックハンマー等の叩き込みによって、しっかりと嵌め合わせてください。

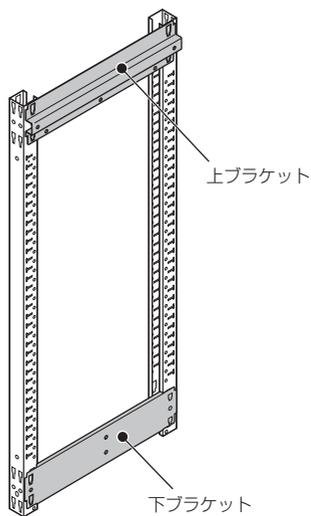
◆ 上下ブラケット、下ブラケット

支柱側面に上下ブラケット、または下ブラケットを取り付けるとき、支柱との間にすき間ができないよう軽く叩いて密着させてください。支柱と上下ブラケット、又は下ブラケットとの間にすき間がある状態では、正しく組立できません。



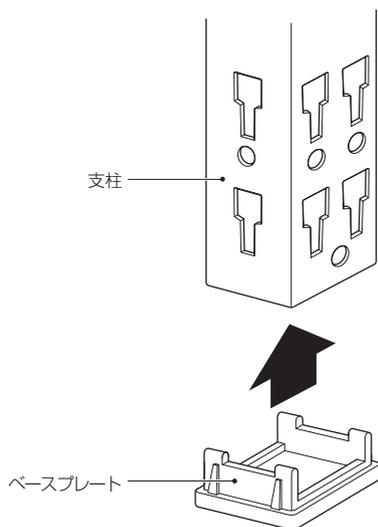
叩き込み方法の参考として、「組立補足説明」の動画をご覧ください。
P.9「枠組み部分組立にあたっての注意事項」をご参照ください。

③ 2本の支柱を連結してパネル状にします。



2 ベースプレートを取り付けます。

支柱下端にベースプレートを取り付けます。

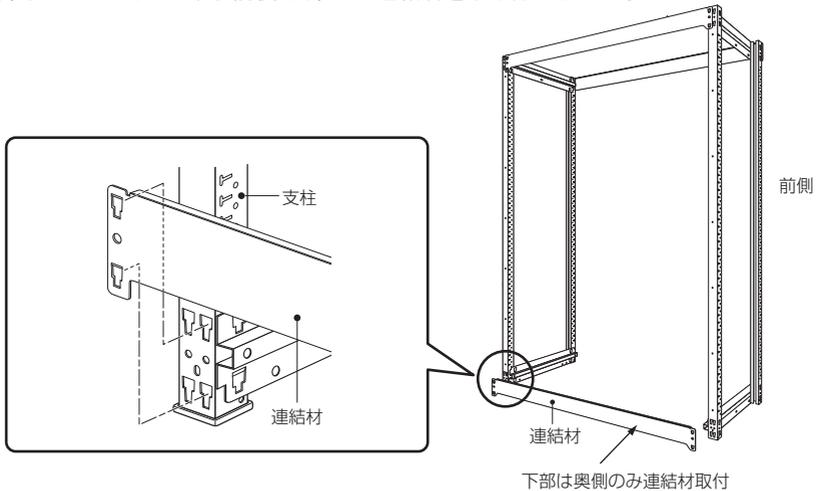


3 連結材を取り付けます。

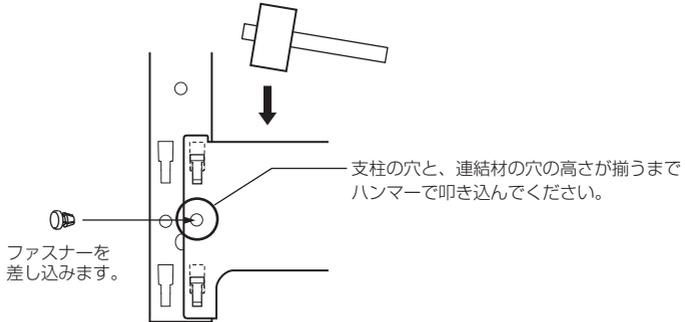
- ① 支柱前面の上下にある羽子板穴に連結材の爪部を差し込み、すき間ができないように密着させます。

P.9「枠組み部分組立にあたっての注意事項」をご参照ください。

下部オープンタイプは、手前側下部には連結材を取り付けません。



- ② 連結材を下方方向に叩き込み、支柱と連結材をしっかりと嵌め合わせます。
支柱と連結材の穴が同じ高さになるまでハンマーで叩き込み、ファスナーを差し込みます。

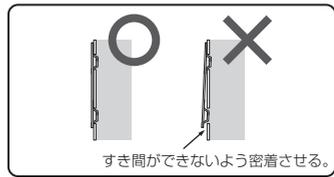
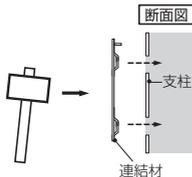


注意 本製品の枠組み部分はボルトレスで組み立てることができます。
組立にあたっては、プラスチックハンマー等の叩き込みによって、しっかりと嵌め合わせてください。

◆連結材

支柱前面に連結材を取り付けるとき、支柱との間にすき間ができないよう軽く叩いて密着させてください。

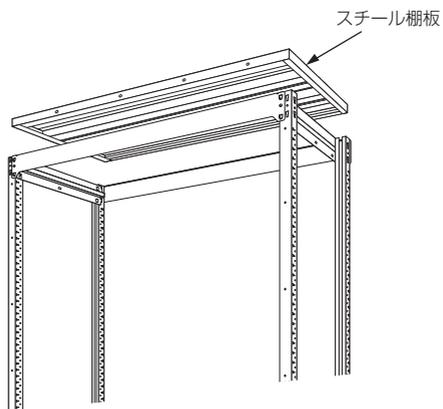
支柱と連結材との間にすき間がある状態では、正しく組立ができません。



叩き込み方法の参考として、「組立補足説明」の動画をご覧ください。

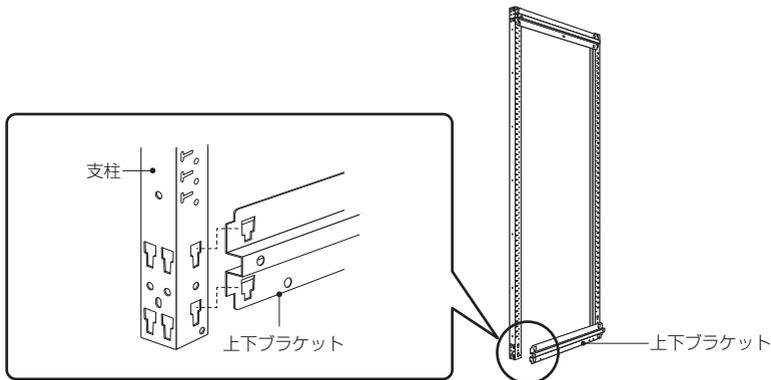
P.9「枠組み部分組立にあたっての注意事項」をご参照ください。

4 上ブラケットの上に棚板を載せます。

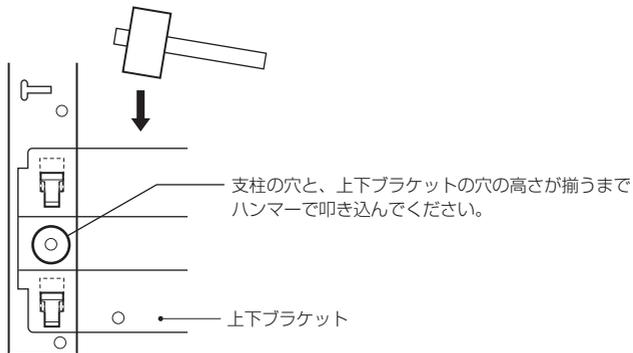


1 上下ブラケットを取り付けます。

- ① 支柱側面の上下にある羽子板穴に上下ブラケットの爪部を差し込み、すき間ができないように密着させます。
P.9「枠組み部分組立にあたっての注意事項」をご参照ください。



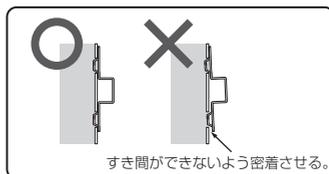
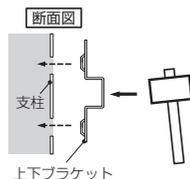
- ② 上下ブラケットを下方方向に叩き込み、支柱と上下ブラケットをしっかりと嵌め合わせます。支柱と上下ブラケットの穴が同じ高さになるまでハンマーで叩き込んでください。



注意 本製品の枠組み部分はボルトレスで組み立てることができます。組立にあたっては、プラスチックハンマー等の叩き込みによって、しっかりと嵌め合わせてください。

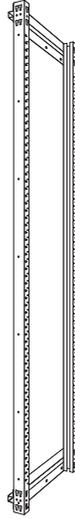
◆上下ブラケット、下ブラケット

支柱側面に上下ブラケット、または下ブラケットを取り付けるとき、支柱との間にすき間ができないよう軽く叩いて密着させてください。支柱と上下ブラケット、又は下ブラケットとの間にすき間がある状態では、正しく組立できません。



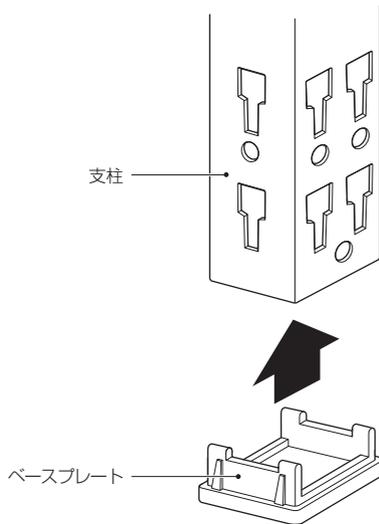
叩き込み方法の参考として、「組立補足説明」の動画をご覧ください。
P.9「枠組み部分組立にあたっての注意事項」をご参照ください。

③ 2本の支柱を連結してパネル状にします。



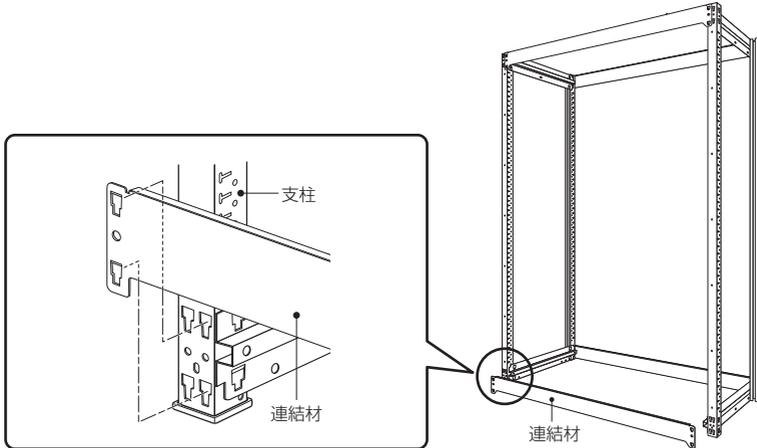
2 ベースプレートを取り付けます。

支柱下端にベースプレートを取り付けます。

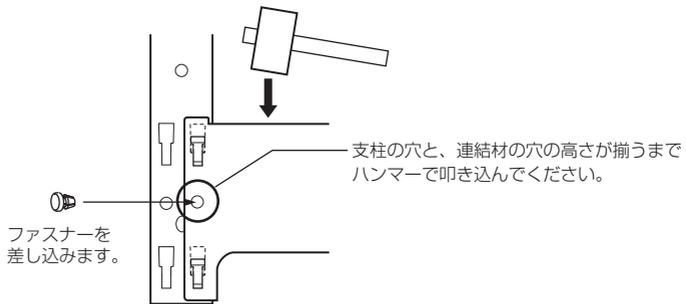


3 連結材を取り付けます。

- ① 支柱前面の上下にある羽子板穴に連結材の爪部を差し込み、すき間ができないように密着させます。
P.9「枠組み部分組立にあたっての注意事項」をご参照ください。



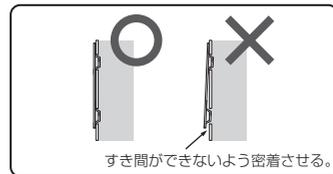
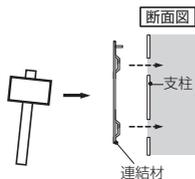
- ② 連結材を下方方向に叩き込み、支柱と連結材をしっかりと嵌め合わせます。
支柱と連結材の穴が同じ高さになるまでハンマーで叩き込み、ファスナーを差し込みます。



注意 本製品の枠組み部分はボルトレスで組み立てることができます。
組立にあたっては、プラスチックハンマー等の叩き込みによって、しっかりと嵌め合わせてください。

◆ 連結材

支柱前面に連結材を取り付けるとき、支柱との間にすき間ができないよう軽く叩いて密着させてください。
支柱と連結材との間にすき間がある状態では、正しく組立できません。



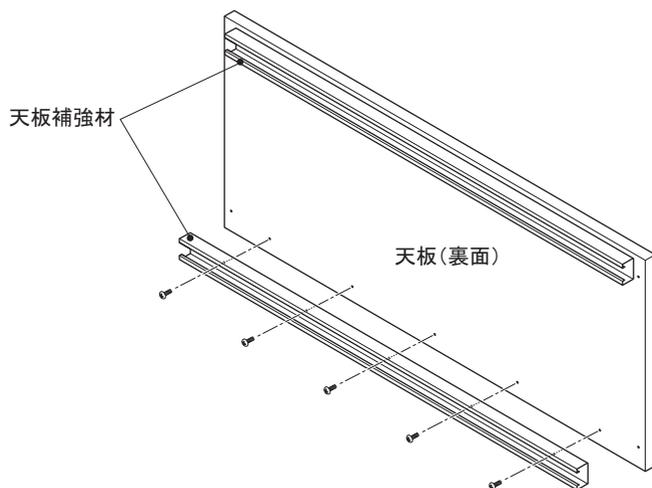
叩き込み方法の参考として、「組立補足説明」の動画をご覧ください。
P.9「枠組み部分組立にあたっての注意事項」をご参照ください。

天板を取り付ける(ロータイプのみ)

本体の高さが950H、1100H、1250H、1550Hのロータイプの場合、天板を取り付けます。

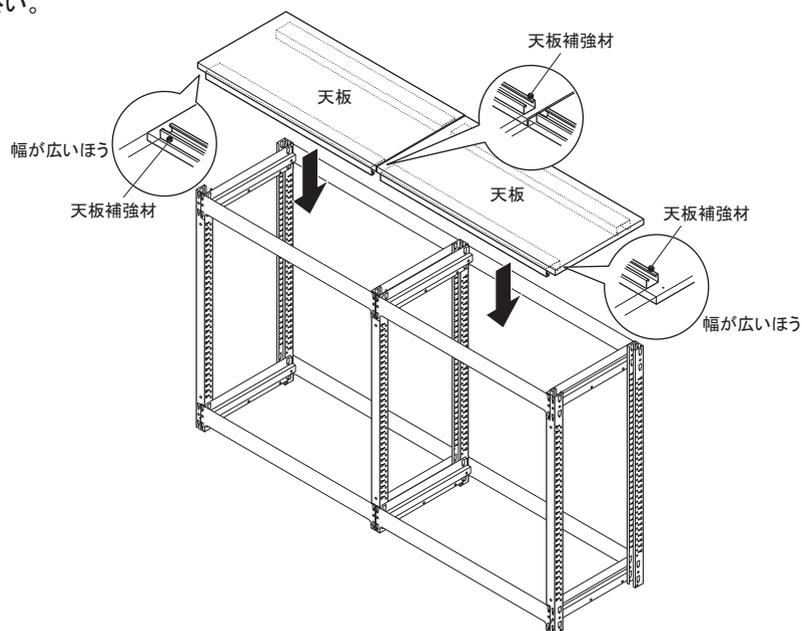
4 天板裏面に補強材を取り付けます。

前後に各1本、M6ビスで取り付けます。



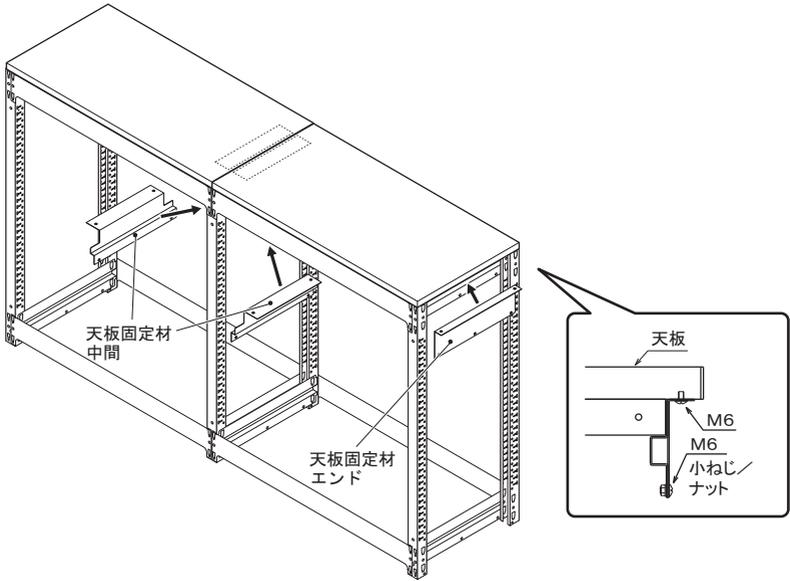
5 組み立てた本体に、天板を載せます。(ロータイプのみ)

本体を2連以上連結している場合は、天板の端と補強材との距離が広い方を外側にセットしてください。



6 天板を固定します。(ロータイプのみ)

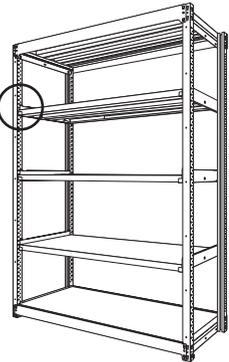
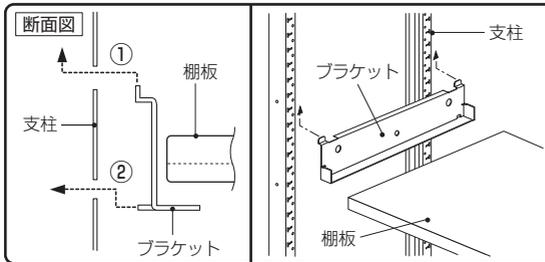
天板固定材エンドと天板固定材中間で、天板を本体に固定します。
M6ビス、ナットで取り付けます。



7 ブラケットを必要な位置に取り付け、棚板を載せます。

中段の棚板取り付けは、左右の支柱側面のスリットに
ブラケットを取り付け、その上に載せます。

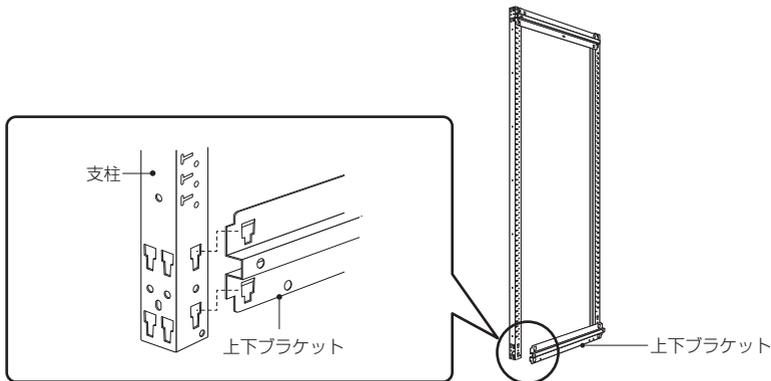
■棚板の調整: 25mmピッチ



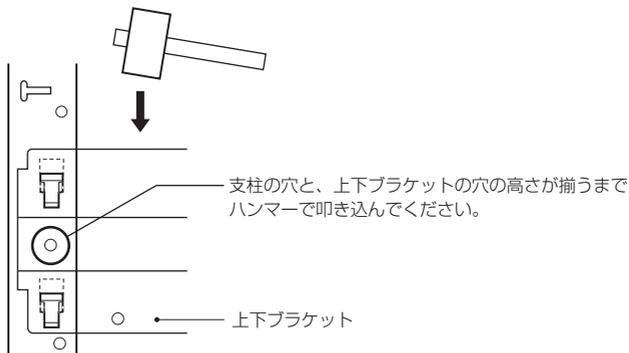
	100kg/段タイプ (450D:木棚)	200kg/段タイプ (450D:スチール棚)
ブラケット		
棚板		

1 上下ブラケットを取り付けます。

- ① 支柱側面の上下にある羽子板穴に上下ブラケットの爪部を差し込み、すき間ができないように密着させます。
P.9「枠組み部分組立にあたっての注意事項」をご参照ください。



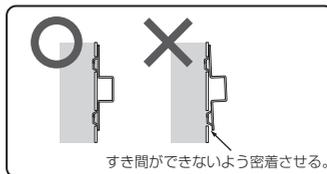
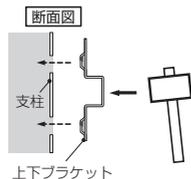
- ② 上下ブラケットを下方方向に叩き込み、支柱と上下ブラケットをしっかり嵌め合わせます。支柱と上下ブラケットの穴が同じ高さになるまでハンマーで叩き込んでください。



注意 本製品の枠組み部分はボルトレスで組み立てることができます。組立にあたっては、プラスチックハンマー等の叩き込みによって、しっかり嵌め合わせてください。

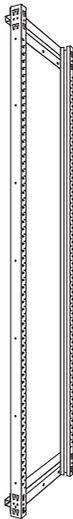
◆上下ブラケット、下ブラケット

支柱側面に上下ブラケット、または下ブラケットを取り付けるとき、支柱との間にすき間ができないよう軽く叩いて密着させてください。支柱と上下ブラケット、又は下ブラケットとの間にすき間がある状態では、正しく組立できません。



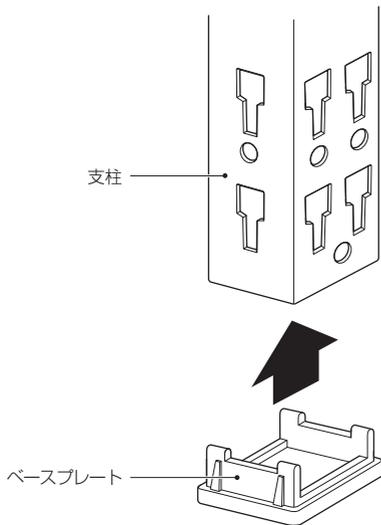
叩き込み方法の参考として、「組立補足説明」の動画をご覧ください。
P.9「枠組み部分組立にあたっての注意事項」をご参照ください。

③ 2本の支柱を連結してパネル状にします。

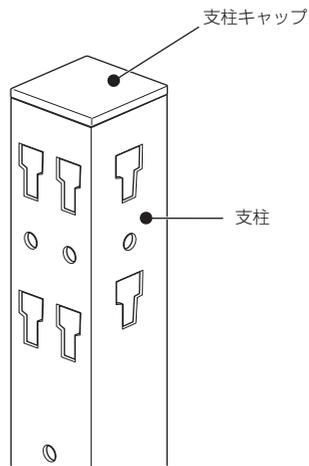


2 ① ベースプレートを取り付けます。

支柱下端にベースプレートを取り付けます。

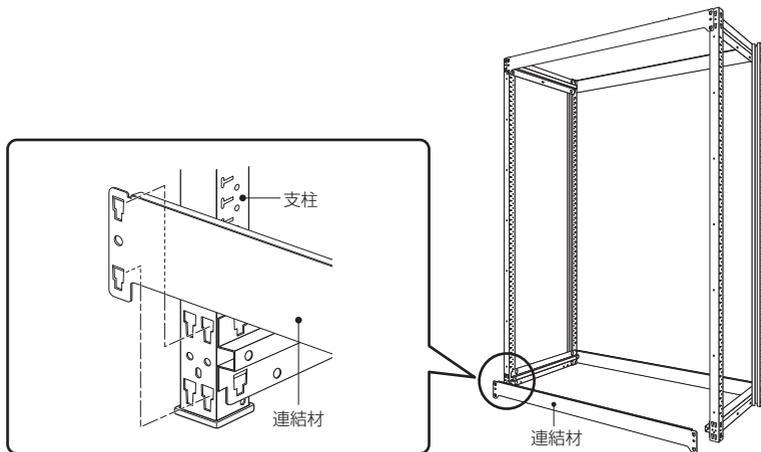


② 支柱上部に支柱キャップを取り付けます。

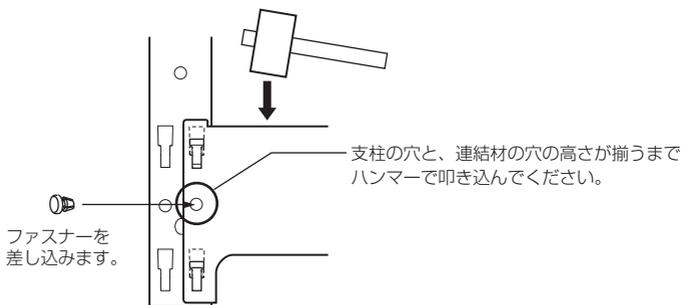


3 連結材を取り付けます。

- ① 支柱前面の上下にある羽子板穴に連結材の爪部を差し込み、すき間ができないように密着させます。
P.9「枠組み部分組立にあたっての注意事項」をご参照ください。



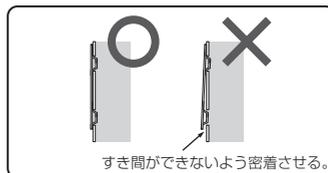
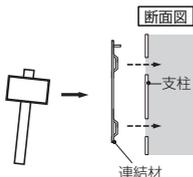
- ② 連結材を下方方向に叩き込み、支柱と連結材をしっかりと嵌め合わせます。
支柱と連結材の穴が同じ高さになるまでハンマーで叩き込み、ファスナーを差し込みます。



注意 本製品の枠組み部分はボルトレスで組み立てることができます。組立にあたっては、プラスチックハンマー等の叩き込みによって、しっかりと嵌め合わせてください。

◆ 連結材

支柱前面に連結材を取り付けるとき、支柱との間にすき間ができないよう軽く叩いて密着させてください。支柱と連結材との間にすき間がある状態では、正しく組立ができません。

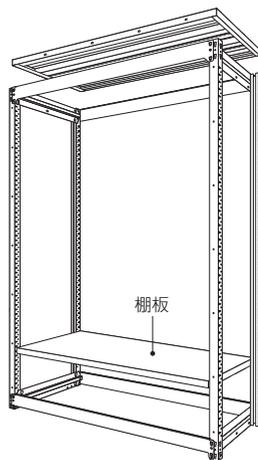


叩き込み方法の参考として、「組立補足説明」の動画をご覧くださいませ。
P.9「枠組み部分組立にあたっての注意事項」をご参照ください。

4 上下ブラケットの上に棚板を載せます。

最上段と最下段の上下ブラケットに、棚板を載せます。

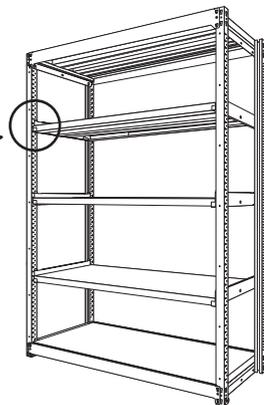
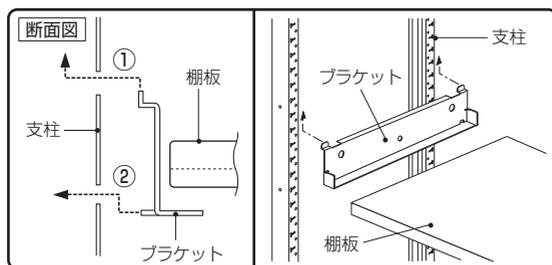
* ロータイプ支柱キャップ付は、全ての段において
スチール棚、または木棚になります。



5 ブラケットを必要な位置に取り付け、棚板を載せます。

中段の棚板取り付けは、左右の支柱側面のスリットに
ブラケットを取り付け、その上に載せます。

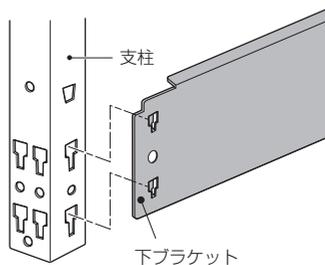
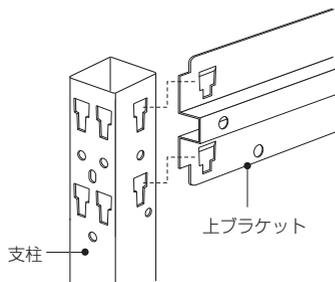
■ 棚板の調整: 25mmピッチ



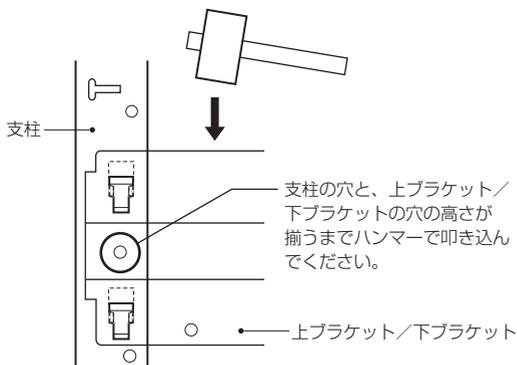
	100kg/段タイプ (450D:木棚)	200kg/段タイプ (450D:スチール棚)
ブラケット		
棚板		

1 上ブラケット／下ブラケットを取り付けます。

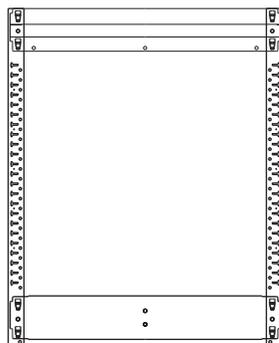
- ① 支柱側面の上下にある羽子板穴に上ブラケット／下ブラケットの爪部を差し込み、すき間ができないように密着させます。
P.9「枠組み部分組立にあたっての注意事項」をご参照ください。



- ② 上ブラケット／下ブラケットを下方に叩き込み、支柱と上ブラケット／下ブラケットをしっかりと嵌め合わせます。支柱の穴と上ブラケット／下ブラケットの穴が同じ高さになるまでハンマーで叩き込んでください。



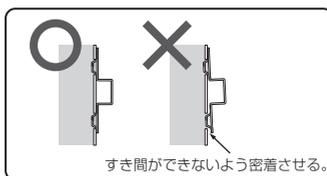
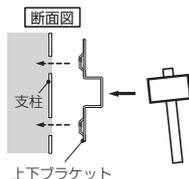
- ③ 2本の支柱を連結してパネル状にします。



注意 本製品の枠組み部分はボルトレスで組み立てることができます。組立にあたっては、プラスチックハンマー等の叩き込みによって、しっかりと嵌め合わせてください。

◆ 上下ブラケット、下ブラケット

支柱側面に上下ブラケット、または下ブラケットを取り付けるとき、支柱との間にすき間ができないよう軽く叩いて密着させてください。支柱と上下ブラケット、又は下ブラケットとの間にすき間がある状態では、正しく組立できません。

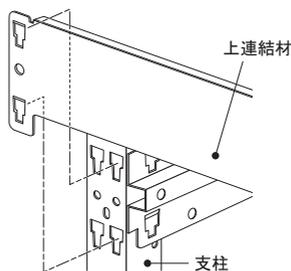


叩き込み方法の参考として、「組立補足説明」の動画をご覧くださいませ。

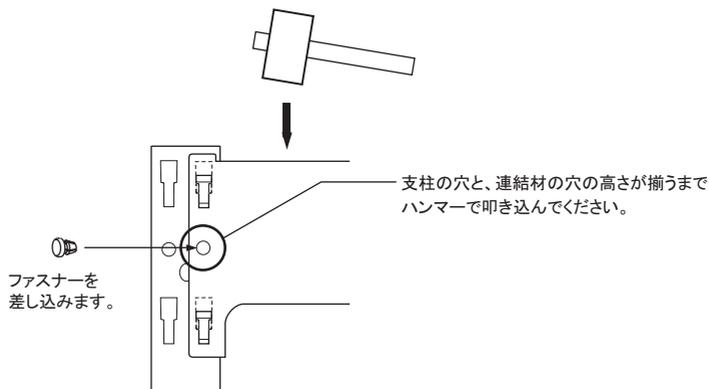
P.9「枠組み部分組立にあたっての注意事項」をご参照ください。

2 連結材を取り付けます。

- ① 支柱前面の上にある羽子板穴に上連結材の爪部を差し込み、すき間ができないように密着させます。
P.9「枠組み部分組立にあたっての注意事項」をご覧ください。



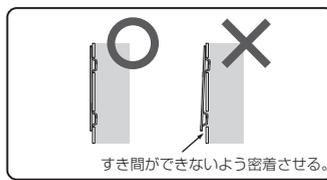
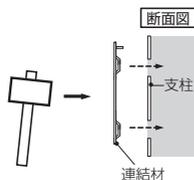
- ② 上連結材を下方方向に叩き込み、支柱と上連結材をしっかりと嵌め合わせます。
支柱の穴と上連結材の穴が同じ高さになるまでハンマーで叩き込み、ファスナーを差し込みます。



△ 注意 本製品の枠組み部分はボルトレスで組み立てることができます。
組立にあたっては、プラスチックハンマー等の叩き込みによって、しっかりと嵌め合わせてください。

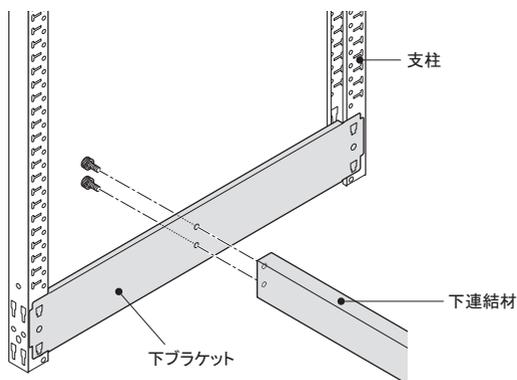
◆ 連結材

支柱前面に連結材を取り付けるとき、支柱との間にすき間ができないよう軽く叩いて密着させてください。
支柱と連結材との間にすき間がある状態では、正しく組立ができません。



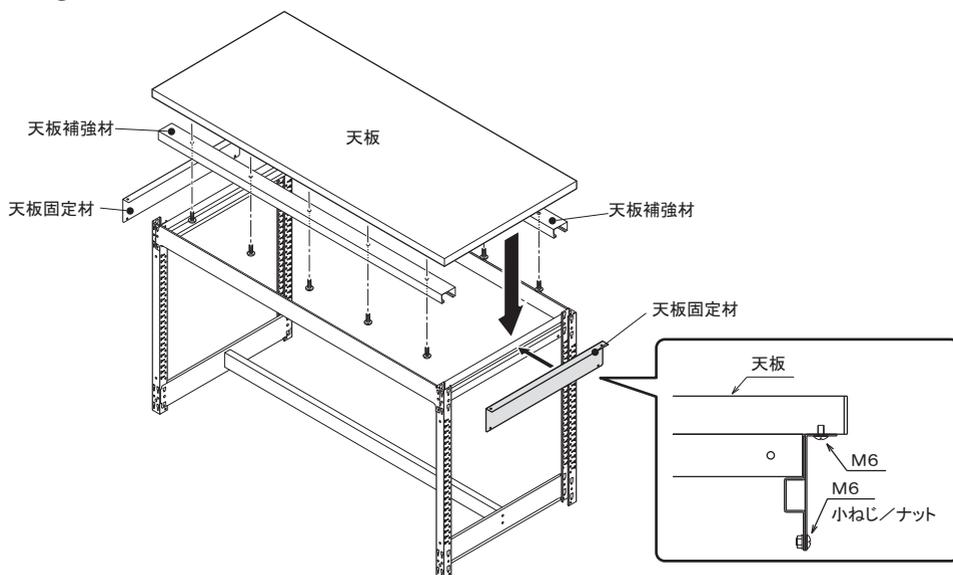
叩き込み方法の参考として、「組立補足説明」の動画をご覧ください。
P.9「枠組み部分組立にあたっての注意事項」をご参照ください。

- ③ 下ブラケット中央に下連結材を、M8特殊ボルトにて取り付けます。
4mmの六角レンチを使用してください。

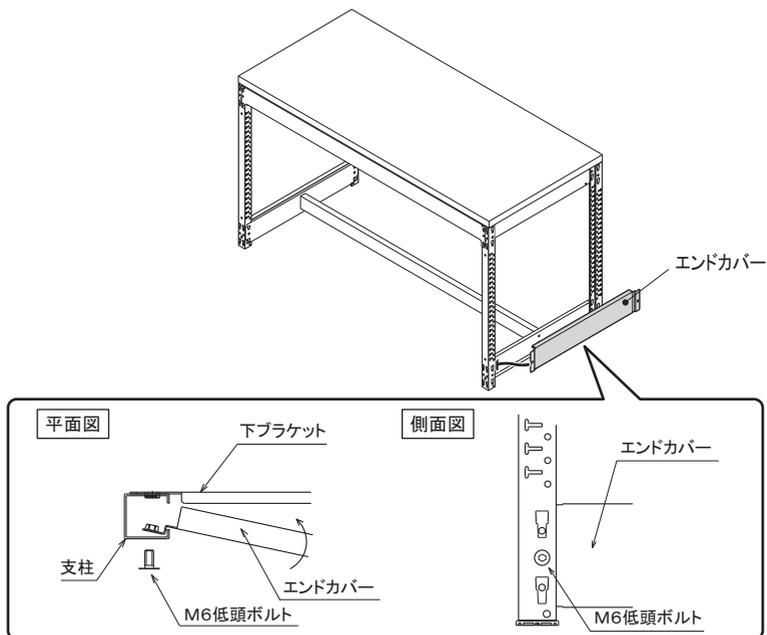


3 天板を取り付けます。

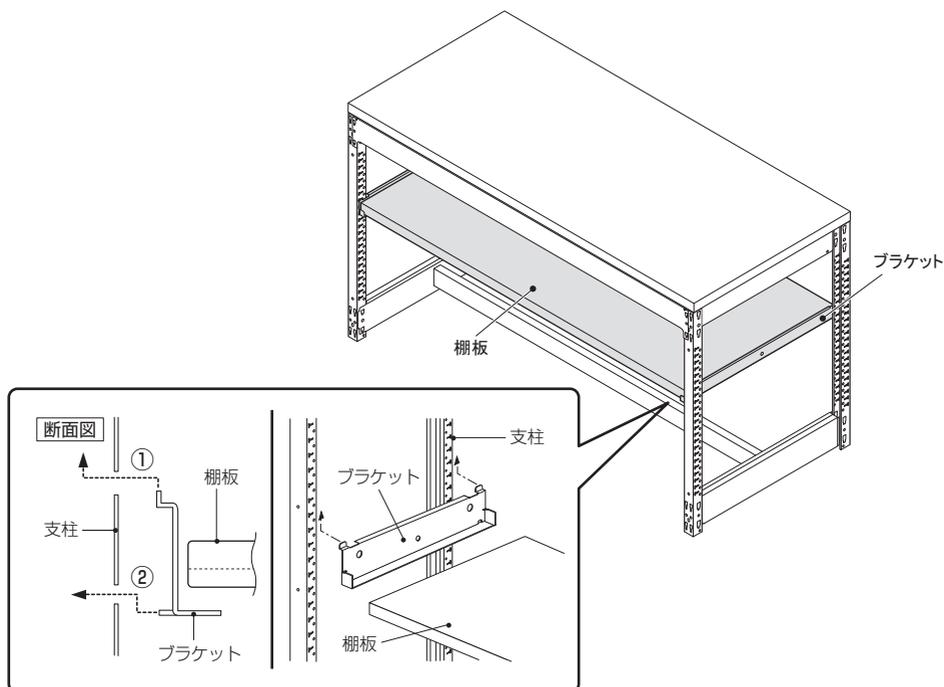
- ① 天板の前後に天板補強材を各1本、M6ビスで取り付けます。
② 組み立てた本体に天板を載せ、天板固定材を左右に取り付けます。



4 下部の左右外側にエンドカバーを取り付けます。

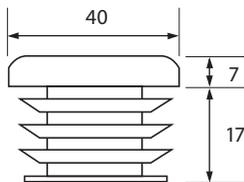


5 棚板(2分割)とブラケットを取り付けます。



オプション品の組立

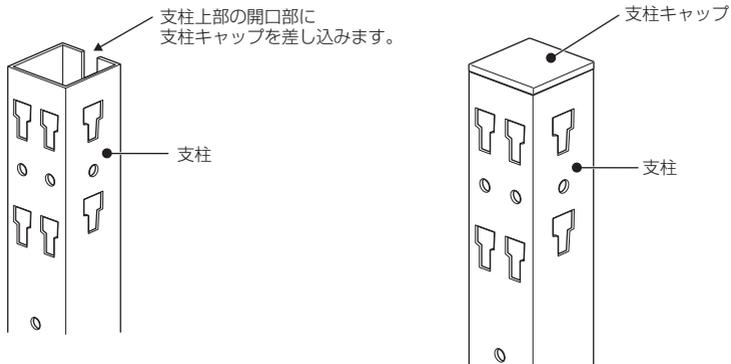
◆支柱キャップ



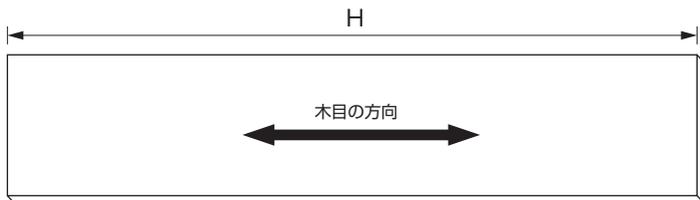
部品番号
8J143P

単体タイプは4個、連結タイプは2個使用します。

※ 支柱キャップとサイドパネルの併用はできません。



◆サイドパネル



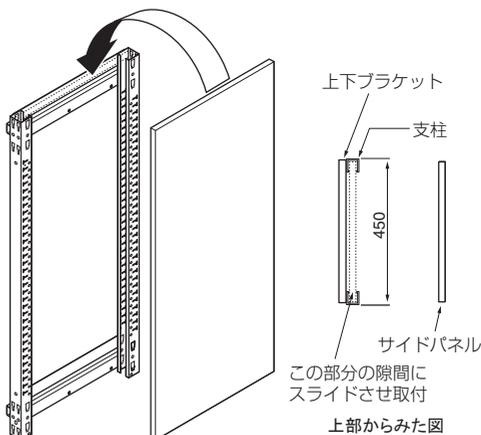
高さ(H)	部品番号
950H	8JG22Y
1100H	8JG23Y
1250H	8JG24Y
1550H	8JG25Y
1850H	8JG26Y
2000H	8JG27Y
2150H	8JG28Y

※ 支柱キャップとサイドパネルの併用はできません。

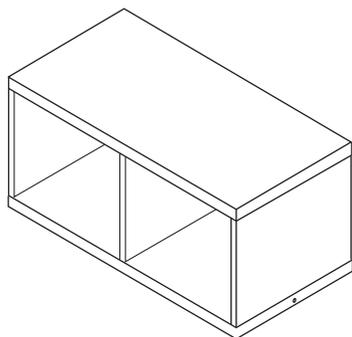
サイドパネルの組立方法

枠組み部分を組み立てるときに、支柱のすき間へ上部開口部からサイドパネルを差し込んでスライドさせて取り付けます。支柱に上下ブラケットを取り付けてパネル状にしてベースプレートを取り付けます。その後、支柱上部の開口部からサイドパネルを差し込みます。

ハンガーパイプ、ディスプレイ棚、ワークトップ棚板などのオプション品と併用する場合は、オプション取付後(組立完了後)に支柱上部の開口部からスライドさせて取り付けてください。



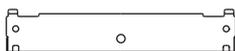
◆ディスプレイボックス棚



ディスプレイボックス棚	部品番号
背板付	8JS33P
背板なし	8JSC3P

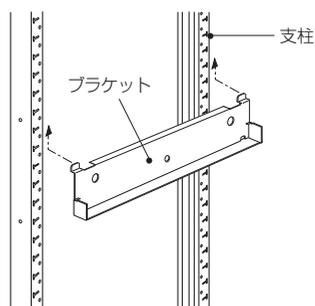
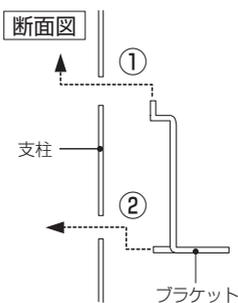
ブラケット	部品番号
ビス付属	8J136Y

ブラケット×2個



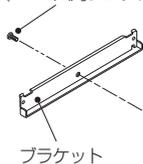
ビスセット

- ① 組み立てた本体に、ブラケットを必要な位置に取り付けます。

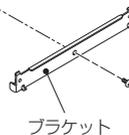
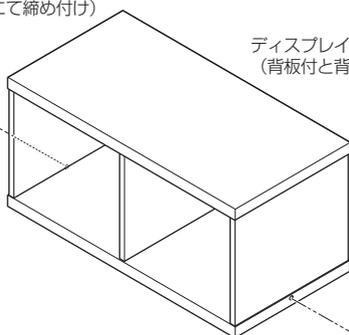


- ② ブラケットにディスプレイボックス棚を載せます。
ディスプレイボックス棚の上下を確認してください。ネジ穴がある方が下です。
- ③ ブラケットの外側から付属のビスで取り付け、固定します。4mmの六角レンチを使用してください。

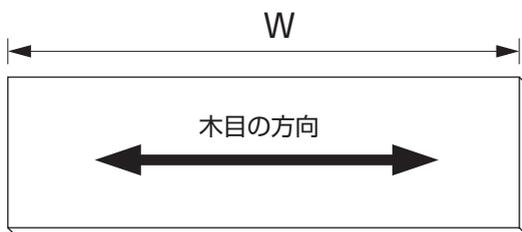
M6ビス (4mm六角レンチにて締め付け)



ディスプレイボックス
(背板付と背板なしあり)



◆ワークトップ棚板(メラミン化粧板)



幅(W)	部品番号
845W	8JT33P
1145W	8JT43P
1745W	8JT63P

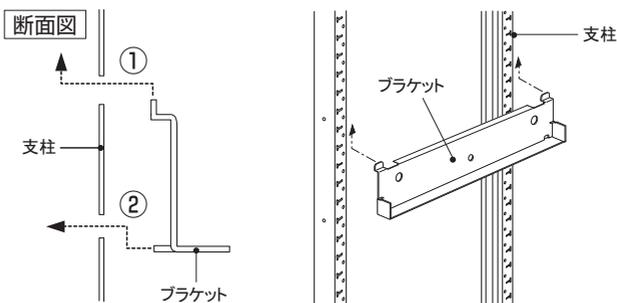
ブラケット	部品番号
ビス付属	8J136Y

ブラケット×2



ビスセット

- ① 組み立てた本体に、ブラケットを必要な位置に取り付けます。



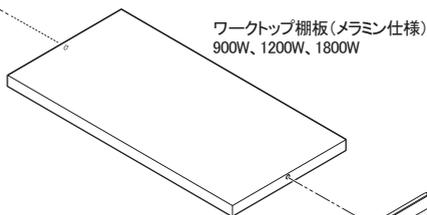
- ② ブラケットにワークトップ棚板を載せます。

- ③ ブラケットの外側から付属のビスで取り付け、固定します。4mmの六角レンチを使用してください。

M6ビス(4mm六角レンチにて締め付け)



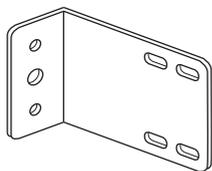
ブラケット



ブラケット

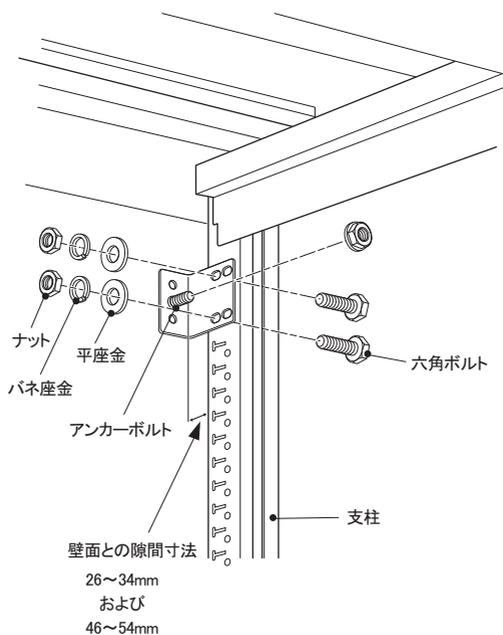
◆壁固定金具

部品番号
8J231P



ビスセット

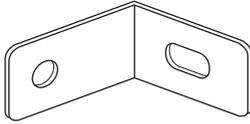
支柱に壁固定金具を六角ボルトで固定します。
壁面にはアンカーボルトで固定します。



壁への固定ビスは壁の構造に合わせて専用ビス又は付属のアンカーボルトをご使用ください。

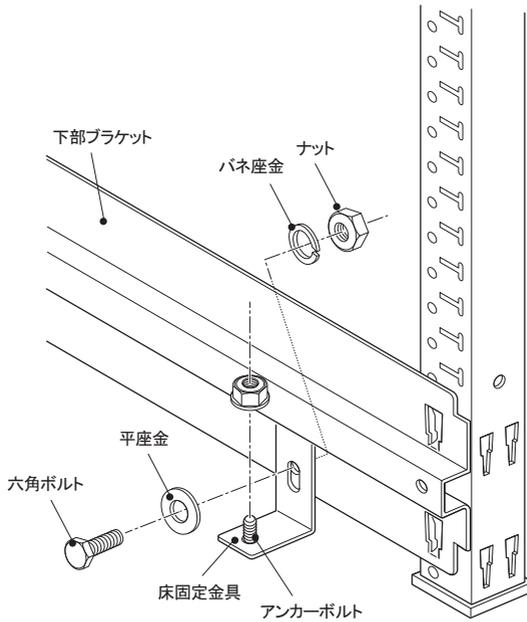
◆床固定金具

部品番号
8J233P



ビスセット

下部ブラケットに床固定金具を六角ボルトで取付けます。
床にはアンカーボルトで固定します。



床への固定ビスは床の構造に合わせて専用ビス又は付属のアンカーボルトをご使用ください。

※下部オープンタイプには取付できません。

保証の明細

【保証する項目について】

この製品の保証期間は、日本オフィス家具協会(JOIFA)「オフィス家具-製品安全基準のガイドライン」に基づき、以下の表を定めております。この期間は、お客様が購入された日から通常の執務状態(1日8時間程度)で、ご利用いただいた場合を想定しております。

外観・表面仕上げ	塗装および樹脂部品の変・褪色、レザー・クロスの摩耗	1年
機構部・可動部	引出し・スライド機構、扉の開閉、錠前、昇降機構等の故障	2年
構造体	強度・構造体にかかわる破損	3年

※保証期間中の製品不具合については、製品又は部品の交換等の修理にて対応させていただきます。

※保証期間経過後の修理は、有料にて承ります。

(経過後の点検・修理は、製品を所有される方に実施責任があります。)

※保証期間内でも、次の場合は有料となります。

- ・購入履歴(購入年月日・購入者名・販売店名)を提示いただけない場合。
- ・弊社発行の取扱説明書・商品貼付ラベル等に従って使用されていない製品の故障または破損。
- ・中古品・譲渡品・個人売買品の故障または破損。
- ・消耗品(電池・電球・バッテリー・キャスター・脚端及びフェルト・肘パッド等)
- ・異常な環境下(高温・多湿・著しい温度変化等)での使用、保管による故障または破損。
- ・天然材料(木・革・その他)における色目、縫い、光沢等の質感の違い。
- ・弊社に責のない外部要因(天災地変・火災・異常電圧等)に起因する故障及び破損。
- ・使用時の手垢・埃等の汚れによる仕上げ表面の変化。
- ・納品後の移動・運搬による故障または破損。
- ・可動部の動作音(椅子のリクライニング等)。
- ・日本国以外で使用する場合。

【修理用部品の保有期間について】

製品の製造中止後5年間とさせていただきます。

JOIFA標準使用期間

日本オフィス家具協会(JOIFA)では、消費生活用製品安全法の主旨に合わせ、一定の使用条件で、安全上支障なくご使用できる期間として、自主的に『JOIFA標準使用期間』を設定しました。この期間は注意を喚起することが目的で、製品の無償保証期間ではありません。通常、JOIFA標準使用期間を過ぎると、摩耗や経年劣化による故障が増大することが考えられます。その場合には、点検・整備や部品交換で継続使用していただくか、ご使用に耐えない場合には、買い替えをお薦めさせていただく場合も有ります。詳しくは、日本オフィス家具協会(JOIFA)ホームページを、ご覧ください。

<http://www.joifa.or.jp>

製品の廃棄について

不要となった製品の廃棄は、法令によりお客様が適切に処理する責任があります。廃棄の際は、法令に従った適切な廃棄処理をお願いします。廃棄に関するご質問は、管轄する地方自治体に、お問い合わせください。

OKAMURA

株式会社オカムラ

横浜市西区北幸 1-4-1 天理ビル

<http://okamura.co.jp>

修理に関するご用命は

オカムラサポートアンドサービス

フリーダイヤル ☎ 0120-448-105

受付時間 24H 受付 (無休)

製品に関するご質問は

お客様相談室

フリーダイヤル ☎ 0120-81-9060

受付時間 9:00-17:00(土・日・祝日を除く)

お問い合わせの際、あらかじめ製品番号をご確認いただけると、ご案内がスムーズです。